

つなぐ

創刊号
2018 No.1

ご自由にお取りください



特集

地域文化のよりどころ 神社をめぐる

創刊記念特別企画

宇和島市長

岡原文彰氏

新春
対談

うわしん理事長 村尾明弘

つなぐ

～未来へ向けて～

5年後の100周年に向けて

適用
利率

年0.20%

募集総額

30(契約額)億円

ご利用対象者 個人・法人のお客様

掛 込 金 額 10,000円以上(1,000円単位)

掛 込 期 間 5年(60回掛込)

取 扱 期 間 平成29年10月1日～平成30年3月31日

〈 注 意 事 項 〉

- ・ 期間中であっても、募集総額に達し次第、締め切らせていただきます。
- ・ 本商品は、預金保険制度の対象商品です。
- ・ 中途解約の場合は、当金庫所定の解約利率を適用いたします。
- ・ 金利は税引前です。お受け取りになる利息については、復興特別所得税が追加課税され、20.315%の税金がかかります。
- ・ 窓口の商品概要説明書をご用意しております。

平成29年10月1日現在

お近くの営業店までお気軽にお問い合わせください。

本店営業部 TEL: 0895-22-5422
恵美須町支店 TEL: 0895-22-6500
新橋支店 TEL: 0895-22-1424
城南支店 TEL: 0895-22-8282
来支店 TEL: 0895-25-8411

泉町支店 TEL: 0895-24-1355
吉田支店 TEL: 0895-52-1455
三間支店 TEL: 0895-58-4333
南宇和支店 TEL: 0895-72-0810
卯之町支店 TEL: 0894-62-6000



宇和島信用金庫



ごあいさつ 宇和島信用金庫 理事長 村尾 明弘

新年あけましておめでとつござ
います。旧年中は格別のご厚情を
賜り、誠にありがとうございました。
昨年、創立九五周年という事
もあり、あわただしく一年が過ぎ
たような気がいたします。今年
は気持ちを新たに、来る百周年に
むけて歩を進めてまいりたいと思
います。今後ともご愛顧頂きま
すようお願い申し上げます。

さて、およそ9年間40号続い
た「情報誌きずな」が昨年廃刊と
なりました。私自身、愛読者であ
り、宇和島信用金庫としても広告
等で応援させて頂いていたこと
もあり、非常に寂しい気持ちとな
りました。そこで、発行元の株式
会社エフオーの沖社長とお会いし
、「情報誌きずな」をずっと一人で編
集してきた川尻さんを私どもで採
用し、できれば「情報誌きずな」を
存続したい旨をお話ししました。

沖社長もそのことに賛同してい
た。気持ちよく彼を送り出して
いただきました。

私としては、「きずな」という名
称を引き続き使用し、宇和島信用
金庫から「新生きずな」を発刊で
きればと考えておりましたが、「き
ずな」はエフオー様が今後も使
用されるという事でしたので、新
しい情報誌の名前は、宇和島信用
金庫職員の応募により「つなぐ」と
いう名前に決定いたしました。

「つなぐ」には、『人をつなぐ』縁
をつなぐ』という意味合いもあり、
まさに「情報誌きずな」を「つなぐ」
情報誌としてスタートすることに
なりました。

「つなぐ」の巻頭エッセイには、
「情報誌きずな」にも寄稿されてい
ました神應 幸男 南予文化会館々
長、小野さとみ様、渡辺文字様、
矢間大蔵様に加わっていただき、

毎号、バラエティに富んだ話題をご
提供出来るものと楽しみにしてお
ります。

また、表紙には宇和島出身の絵
本作家「ありま三なこ」様にお願
いしたところ、快く引き受けて下
さり、心より感謝しております。

今後とも、この南予地域を題材
にいろいろな文化や歴史を取り上
げ、地域の皆さまに喜んでいただ
けるよう努力して参りますので、
「つなぐ」を応援して頂ければ幸い
です。

C o n t e n t s



- 01 ごあいさつ 宇和島信用金庫 理事長 村尾 明弘
- 05 巻頭エッセイ 「戌年雑感」 宇神 幸男
- 07 創刊記念特別企画 新春対談
宇和島市長 岡原文彰氏 / うわしん理事長 村尾 明弘
- 10 特集 地域文化のよりどころ
神社をめぐる
- 15 撮り歩きなんよ アマチュアカメラマン北濱一男が撮りためた南予の風景
- 16 ふるさとの **カタチ** 創業 100 年の老舗食堂 むらさめ
- 17 ツナグ昭和館 — 宇和島の「おまち」探索 — 田部 司
- 18 「つなぐ」創刊によせて
本田 耕一 / 吉田 淳治 / 渡辺 文子 / 荻原 実紀
- 20 血圧を測りましょう。 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆



表紙 / 「つながりのまち宇和島 -2018-」
作 / ありま三なこ

プロフィール

1987 年生まれ、愛媛県宇和島市出身。子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作でしかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016 年第 8 回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす。現在は個展やイベントへの出品等で活動中。

つなぐ 創刊号

〒798-0041

宇和島市本町追手 2-8-21

0895-23-7000

年 4 回発行（季刊誌）

配布先 / 宇和島信用金庫各支店ほか

発行 / 宇和島信用金庫

本誌掲載内容の無断転載を禁じます。



この度は「つなぐ」創刊おめでとうございます。

そして、このような大役を務めさせていただけることを大変嬉しく思っています。

海と山が広がる宇和島は私の大好きなふるさとです。

港近くで魚をくわえながら逃げる猫を見たことも、遠足で鬼ヶ城まで登ったことも、和霊神社の隅でこっそり文化祭の練習をしたことも、かけがえのない思い出です。

そしてなにより、宇和島の人たちは本当に心が温かい。

お店にいかなくても多くのものが手に入る今の時代。

でも、モノは心を埋めることはできないし、豊かな心はお金では買えません。

離れた今、よりいっそう感じます。

宇和島は、都会のような便利さはないけれど、その分人のつながりがたくさんあります。

キラキラした笑顔がそこらじゅうに溢れています。

とある人に言われました。

「行き詰まったらまた帰っておいで。元気をたくさんもらって、それからまた進めばいい」と。

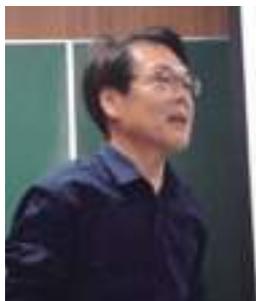
本当にその通りで、みなさんからのご声援が、私の活力になっています。

私を育ててくれた、心温かい宇和島の魅力を絵で表現できたらと思います。

ありま三なこ

巻頭エッセイ 執筆者

個性あふれる4人の方のエッセイを持ちまわりで掲載します。



宇神 幸男
ugami yukio

南予文化会館館長／小説家／音楽評論家

1952年 宇和島生まれ
宇和島南高等学校卒業 その後、宇和島市に奉職。1989年ピアニスト、エリック・ハイドシェックの再デビューコンサートを南予文化会館で企画・開催する。1990年『神宿る手』で小説家デビュー。定年退職後、南予文化会館の館長に就任。小説／神宿る手（講談社）消えたオーケストラ（講談社）ほか歴史書／シリーズ藩物語 宇和島藩（現代書館）



小野 さとみ
ono satomi

(有)小野商店

1958年 鹿児島生まれ
上智大学新聞学科卒業後、編集者として旅や神社仏閣、中国料理などの全集ものを担当。29歳の秋より岩松で夫の家業を継ぐ。趣味はバレエ、俳句（いつき組）。駄洒落好き。



渡辺 文子
watanabe fumiko

(株)編集工学研究所 総務部長

1960年 宇和島生まれ（旧姓 菊池）
宇和島南高等学校卒業後、上京。共立女子短期大学・文科国語学科卒業後、(株)リクルートに入社、総務部、社長室を経て出産育児により退職。その後、マザーリング研究所に入社、ワーキングマザーのサポート業務などを経て、2004年より(株)編集工学研究所。年に数回は帰省、必ずお城山に登る。



矢間 大蔵
yazama daizo

農家／松野町移住コーディネーター

1974年 宇和島生まれ
宇和島南高校卒業後、和歌山の大学へ進学し、卒業後は大阪府の広告代理店に就職。コピーライターおよび商業筆文字師として活動。2014年4月、農業を志し、地域おこし協力隊として愛媛県松野町へ移住。3年間の任期を終えた2017年4月より4500平米の桃農家と町の移住コーディネーターを兼務。またFMがいや「ワッツアップ! まつの」パーソナリティーとしても活躍中。

磯田道史さんの講演会を企画したが、実現しなかった。

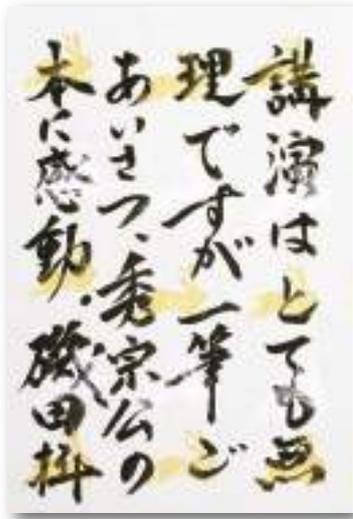
講演はとても無理ですが 一筆ごあいさつ 秀宗公の本に感動 磯田拜

と紙面いっぱい墨書された葉書をいただいた。テレビ出演も多い磯田さんは超多忙なのであろう。

妻は葉書を小さな額に収め、ピアノの上飾った。ピアノを弾くたびにこれを見ることになる私は、残念だと思い、元気なよい字だと思っ。

文中の「秀宗公の本に感動」とは、宇和島信用金庫が刊行した絵本『秀宗公物語』のことで、私は講演依頼の手紙に添えて絵本伊達家物語三部作を送ったのだった。

先頃、黄綬褒章の栄に輝いた村尾信用金庫理事長であるが、宇和島南高校の同輩村尾君は、かどや駅前本店に私を招待し、私の酒好きをよいに地酒「虎の尾」を一升飲ませ、これをもって執筆料に代えたのである。執筆には非常に苦労したから、私はこの処遇に一抔の不満があった。



戌年雑感

宇神 幸男

しかし、「秀宗公の本に感動」という磯田さんの言葉に、労苦が報われた思いがした。書いてよかった、とつくづく思ったのである。

さて、磯田さんの本はどれも面白いが、最近のものに『徳川がつくった先進国日本』（文春文庫）がある。この本の中で、磯田さんは五代將軍徳川綱吉について言及、肯定的に評価なさっている。

私がこどもの頃に習った（父から聞かされた）綱吉は戌年生まれの「大公方」で、人命より犬命を大切にされたバカ殿であった。このイメージは、テレビの「忠臣蔵」関連ドラマ、「水戸黄門」関連ドラマなどによって増幅された。

もっとも、忠臣蔵（元禄赤穂事件）に関しては、よりにもよって殿中大切の日（年間でも重要な儀式の日）にいぎなり吉良義央に斬りつけ、綱吉によって即日切腹させられた浅野長矩を、気の毒と思っただけではない。

かといって、綱吉に好意的であったかというところ、いくら学問好きで教養のある將軍であっても、生類憐みの令は悪法で、



宇神 幸男 うがみゆきお

作家・音楽評論家。小説は『水のゆくえ』（角川書店）『ヴァルハラ城の悪魔』（講談社）など7冊。近年は『宇和島藩』『伊予吉田藩』など歴史書がある。『評伝楠本伊内』（現代書館）が年明けに刊行予定。本名 / 神應幸男

庶民を苦しめた悪い人だと思っていた。ところが近年、生類憐みの令はほんとうに悪法だったのか、綱吉はバカ殿だったのかを検証する本が何冊か出た。將軍綱吉の再検討・再評価である。読むうちに綱吉のイメージが変わった。

特に犬が好きでもなかった綱吉が生類憐みの令を布告したのは「長男の徳松が夭折したのは、（綱吉が）前世で犬を殺した祟りであるから、犬を保護すること」という、僧隆光の提言による、といわれている。

最初は犬猫保護だったが、しだいに工スカレートし、蚊を殺してもいけないことになった。（私が高校生の頃、尊敬する偉人の上位にいたシュヴァイツァー博士は、晩年、蚊も殺さなかつた）

忘れてはならないのは、綱吉は捨て子の禁止、病人、病馬・病牛の保護も厳命しており、あらゆる命を大切に、万民が平和に暮らすように命じたのである。

三百年以上も前に、世界にさきがけて動物保護法を制定した日本では、年間十萬頭以上の犬猫が殺処分されている。

● 伊達博物館 ひな人形展

会 期：2月17日(土)～4月8日(日)
AM9:00～PM5:00 (入館はPM4:30迄)

休館日：月曜日(祝休日の場合は翌火曜日)

横幅7.5mもの雛壇に飾られるひな人形は、公家のしきたりや装束を忠実に再現した有職雛です。内裏雛をはじめとした17体の人形や、200点以上も揃えられた調度品は、小さいながらも本物さながらに作られており、見応えがあります。また、同時に宇和島7代藩主夫人親姫所有のひな人形を展示します。いずれも華々しく愛らしいお人形さんたちです。



有職雛 (館蔵品)

お問合せ / 宇和島市立伊達博物館
宇和島市御殿町9-14 Tel.0895-22-7776
<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/datehaku-top/>

● 畦地梅太郎展 - 梅太郎だけの青 -

会 期：2月16日(金)～5月7日(月)
AM9:00～PM5:00 (入館はPM4:30迄)

休館日：火曜日(祝休日の場合はその直後の平日)*5/1(火)は開館

冷たい印象や尖った印象を与える青も、梅太郎の青は厳しくも清々しく、そしてやさしい。梅太郎が心おどらせた色「青」。梅太郎の五感全てでしかと確かめた色「青」。そして梅太郎にしかだせない色「青」。今展では、梅太郎だけの青に注目してご覧いただければと思います。



山小屋の老人

お問合せ / 畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館
宇和島市三間町務田180-1「道の駅みま」内
Tel / Fax. 0895-58-1133
<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/azechi-iseki-museum/>

● 婚活イベント いちご一笑物語 in 南楽園

会 期：3月18日(日)13:00～18:30

場 所：津島町 南楽園

対 象：20～30代独身男女

定 員：男性25名 女性25名

参加費：男性3,000円 女性2,000円

南楽園でいちご狩り＆園内散策をして立食パーティーを行います。お申し込みは、2/28までにお近くの公民館まで(FAX、Eメール可)



梅が咲き誇る南楽園

お問合せ / 鶴島公民館 Tel.22-6442 Fax.22-4560
E-mail: tsurushima-ph@city.uwajima.lg.jp
主催：宇和島市教育委員会

● アトリエ堀端 こども絵画教室 「見て！みて！」展

会 期：3月3日(土)9:00～18:00

4日(日)9:00～17:00

場 所：きさいや広場 市民ギャラリー

※3日(土)14:00～ワークショップ(造形あそび)

ウマイ、ヘタより自由な表現。幼児から中学生、こどもたちの「見て！みて！」の音がたくさんの方々に届きますよう。



前回ワークショップの様子

お問合せ / べにばら画廊 宇和島市本町追手2-8-6
Tel / Fax. 0895-22-1104 E-mail: benibara.art@gmail.com
<https://benibara.webhop.info/>

つなぐ配置先

- 宇和島市役所1階ロビー ●津島支所 ●吉田支所 ●三間支所 ●市立中央図書館 ●吉田図書館 ●宇和島市立病院1階ロビー
- 市立伊達博物館 ●南予文化会館
- 宇和島信用金庫本店営業部・各支店(恵美須町、新橋、城南、来、泉町、吉田、三間、南宇和、卯之町)

新春 対談

創刊記念特別企画



宇和島市長

岡原 文彰

村尾 明弘

宇和島信用金庫
理事長

昨年、合併後第2代宇和島市長に岡原文彰氏が就任されたことは、皆さんご存知のことと思います。

今回、「つなぐ」創刊を記念して、岡原新市長と宇和島信用金庫 村尾明弘理事長との対談が実現しました。

村尾理事長 まずは、市長ご就任おめでとうございます。また、本日はお忙しい中、お時間をつくっていただきましてありがとうございます。

岡原市長 ありがとうございます。こちらこそ、こういう機会を頂いて大変光栄です。

村尾理事長 本題に入る前に市長の子どもの頃のお話をお伺いしたいと思います。先日、市長のお父様とお話する機会がありまして、市長が子どもの頃、大変な電車好きだったとうかがいました。

岡原市長 そうなんです。当時、父の仕事の関係で奈良に住んでいました。しよっちゅう電車をみに行っていました。ある日、近所の女の子と一緒に遮断機が下りた状態の踏切内に座って電車を見ていたとかで、親はずいぶん肝を冷やしたようです。その頃は、絵を描いても全部電車でした。余談ですが、私が描いた電車の絵が奈良県で一番になったこともあります。その後は、まったくダメですけど(笑)



岡原 文彰 おかはら ふみあき

好きなスポーツ/サッカー・ラグビー
1975年生まれ 宇和島市出身
宇和島東高等学校卒 松山大学 法学部卒
その後、水産業界に従事し、
平成25年～29年 宇和島市議会議員
平成29年9月～宇和島市長

村尾理事長 次に、私も、かねてより

気になっている市の広報についてですが、市長も「積極的な広報戦略」というキーワードを掲げられています。そのことについてお聞かせ下さい。

岡原市長 以前、ある方がこんなお話しをされたことがあります。

「市長は、みかん一個いくらとか、鯛がキロいくら、と売る必要はない、行政には行政のやる仕事がある」

私もまったく同感です。行政の仕事は、まず売りやすい環境をつくる事です。

そのためには、まず宇和島がどういう所で、どんな町なのかというシティーセールスが最も必要だと思います。

村尾理事長 以前、新居浜の太鼓祭りに行く機会があつて、移動のバスの中で、太鼓祭りのDVDが流されていて、

とても分かりやすかつたのですが、宇和島市にはそのような観光DVDは、あるのでしょうか？

岡原市長 地元の企業の中には、独自に宇和島を紹介するクオリティーの高いDVDを制作し、実績を上げているところもあります。残念ながら市にあるものは充分ではないと思います。

また、宇和島には、数年前から外国の旅客船が寄港していただくようになっていますが、全国には、事前に広報DVD送り、船内で観てもらってから上陸していただく活動をして、成果を上

げている行政もあるようです。

そして、もうひとつ気になっているのが、イベントひとつ十分に市民に伝えることのできていない現状をどう打開するかと言うことです。その為には、内側、外側に向けての広報力を身に着ける必要があると思います。

そういった意味では、毎月お配りしている市の広報も、市民目線にたった読みやすい魅力的なものに変えたいと思っています。

村尾理事長 私たちも、宇和島の良さを市民が再認識しない限り外へ向けて発信できない、という思いで、あらゆる機会を通じて外部の人を招いて宇和島をアピールしていますが、皆さん口をそろえて「また来たい」と仰っていただきます。

また、宮城第一信用金庫との提携や地元の子供たちに宇和島の歴史を知っていただくために絵本を3部製作してきましたが、一企業がやるには限界があります。ぜひ、こういった活動を行政と民間が足並みを揃えて取り組める環境をつくって頂きたいと思っています。

岡原市長 制作された絵本は、子どもたちに故郷の歴史を伝えるための素晴らしいものだと思います。このような話題をマスコミを通じて発信をしている町には人は来ます。なので、広報に力を入れないと、人は来ない、モノは

村尾理事長 市長の子どもの頃のお話を聞かせて頂いたところで本題に移りましょう。

まず、市長の所信表明にもある、県との連携についてお聞かせ頂けますでしょうか。

岡原市長 残念ながら今まで宇和島市は、県との連携が充分でなかったと思います。私も市議の時に県の営業本部に同行したことがあるのですが、その時それを肌で感じ、所信表明でも取り上げさせていただきました。

しかし、連携強化の取り組みも一朝一夕に解決しない事を痛感しています。まずは、同じ方向を向くこと、そして、実需や恩恵を共有することができればと考えています。



村尾 明弘 むらお あきひろ

1951年生まれ 宇和島市出身

趣味 / 読書

宇和島南高等学校卒 専修大学卒

1975年 宇和島信用金庫に入庫

2012年 宇和島信用金庫初のプロパーで理事長に就任

売れない、市民生活は情報が無いまま埋没してしまう、ということになってしまいます。

村尾理事長 市長のお考えがとてもよく解りました。では、話題を変えましょう。最近、宇和島でみかん作りをしたいという1ターンの方とかかわる機会がありました。その中で、全国の数ある町の中から宇和島を選んでいただいたこの人たちがどうにか守ってあげたいと痛切に感じました。その事についてどうお考えでしょうか。

岡原市長 市では従来より移住者の受け入れに取り組んでは来ていますが、全国1700余の市町村の中から宇和島市を選んでいただくためには、ここでも、やはりシティーセールスが必要

になってきます。その上で、住まいや仕事といった受け皿や仕組みを作り上げていかなければならないと思います。

村尾理事長 私も、100数十人を預かる地元企業のトップとして「人財」について常に考えを巡らせています。

東北の震災の時、食料がなくて困っている地域住民のために、笹かまぼこを製造する会社が発電機を手配し製造ラインを稼働させ、無償で笹かまぼこを配った話しがテレビで放送された時、その会社の専務が「わが社の地域貢献は雇用です」と言いきられているのを聞いて大変感心しました。

私共も、毎年、地元出身者を雇用させて頂いています。地域、企業にとつて人は財産です。そういう観点からも、地元の企業を大事にする市であつてほしいと思います。

岡原市長 そうですね。「人財」に関しては、これまでの宇和島市は、財政状況も悪かったこともあつて、人をコストとみてカットしてきました。おかげで財政状況は改善されましたが、やはり人はコストではなく「財産」だと思っています。そんな状況を踏まえて、近いうちに市の若手職員との意見交換と交流の場を持ちたいと考えています。そこで現状を把握し、適切に対応できればと考えています。

村尾理事長 市長から若い人に関する

お話ができましたので私共の「南予活性化若手経営塾」についてお話させていただきます。この経営塾は本年で11年目を迎え、卒業生も140名余りになり、近い将来、OB会(卒業生の会)の会員相互でビジネスマッチングが行われればと期待をしているところです。まだまだ、たくさんお話をお伺いしたいところですが、時間も限られていますので、最後に一言頂けますか。

岡原市長 はい。宇和島市の5年、10年後を見据えた様々な施策を考えています。今までの市政は、近くを見過ぎていたような気がします。今後は、職員本来がもっている高い能力を引き出して、この地域が、もう一度輝けるよう頑張つて行きたいと思っています。

村尾理事長 私共も、5年、10年後を考えると、地域の人口減少の流れは止めることはできないと思つています。そんな状況でも、信用金庫は決して逃げることはできません。しかし、それは私共の強みが発揮されるチャンスと捉えています。その為には、徹底的に地域に尽くすことです。それが出来れば必ずお客様の信頼を得、生き残つていけると信じています。

本日は、お忙しい中、貴重なお時間を頂きありがとうございました。

神社をめぐる



写真：北濱一男 撮影協力：着物を楽しむ会、伊吹 八幡神社

日本どこに住んでも皆さんが住んでいる地域は必ずどこかの神社の氏子になっていて、その神社が氏神様になります。

一番身近な神社は氏神様であり、お宮参りや七五三、結婚式や厄除などの人生儀礼をその神社で行います。最近では、自身の氏神様がどこの神社かわかってない方も多く「みんなが行くから」「有名なから」、という理由でお参りされる方も多いようです。

初詣にしても全ての御参りは先ず氏神様、そして個人的に行きたい神社があるならその後に行くというのが本来のありようです。

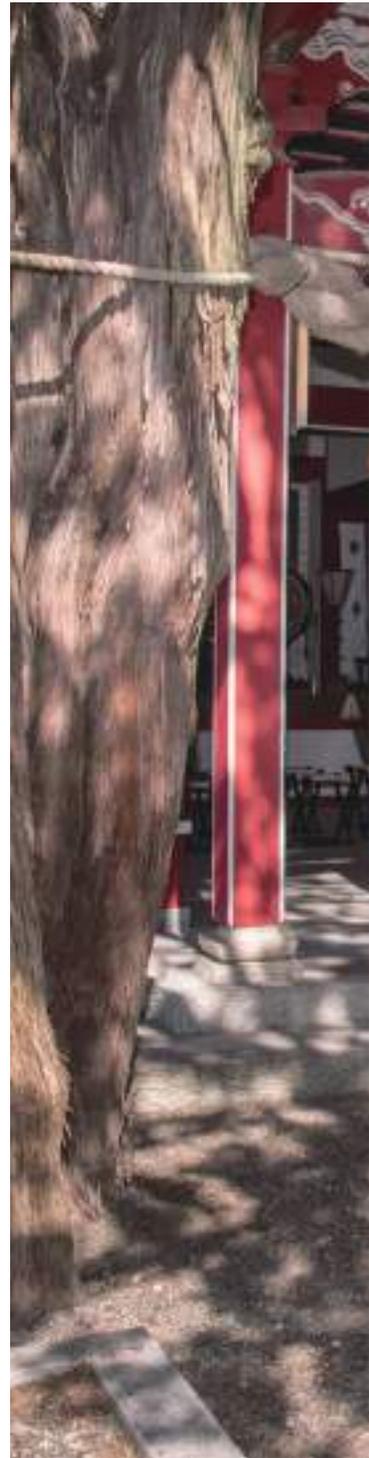
このような状況の要因として、核家族化があげられます。本来、親から子へ子から孫へと伝承されるべき氏子地域という認識が薄れてきているようです。また、合わせて祭の本質が理解できてない人が多いことがあげられます。祭りの中心は神輿のほずが、最近では山車や四つ太鼓、牛鬼などの練り物が主役であるかのような状態で、単なるお祭り騒ぎとなってしまう気がしています。

これらは、西条のだんじり、新居浜の太鼓台等にもみられますが、祭りは神社で行われる祭典であり、神輿が一番大切であるという認識が失われつつあるのではないかと考えられます。神輿があつてこそその祭りであり、それを賑やかにするのが山車や練りであるということを理解していただきたいと思えます。

さて、新年を迎えられご家族で神社にお参りをして授与所でお札と御守りを受けられた



隆々とそびえ立つ国指定天然記念物の伊吹の木と拝殿



伊吹 八幡神社

宇和島市伊吹町1068(北二区)
TEL.0895-22-1282



宇和島市伊吹町にある八幡神社の歴史は古く、和銅元年(707)に九州宇佐八幡より勧請され、同5年(712)より祭祀が始まったとされています。

祭神の八幡様とは、第15代天皇、応神天皇(おきみ)の棟梁として長く活躍した源氏の守護神だったためおおいに栄え、全国に2万を超える社があります。

また、拝殿前にある樹齢800年と言われる伊吹の木は、源義経(みなもとのよしのぶ)が伊予守に任ぜられた際に、家臣、鈴木三郎重家に植えさせたものと伝えられ、国指定天然記念物になっています。

新宇和島の自然と文化によると、「向かって左側の株は幹周り4.2m。右側のもは4.8m。両者とも高さは約20mである。樹齢は800年を超える。これまで幾度も台風の影響を受け、枝が破損しているが樹勢はそれほど弱っていない」とあります。

※勧請…仏神の霊を寺社に新たに迎えて奉安すること



八幡神社 宮司 渡部 太輔

昭和49年生まれ
宇和島南高等学校 卒業
國學院大學文学部神道学科 卒業
國學院大學法学部法律学科 卒業
八幡神社 宮司/八幡幼稚園 園長/保護司

方もいらつしやると思います。また、一方で御社殿できちんと御祈禱をして昨年一年間の感謝の気持ちを伝え、身も心も清らかになった自分自身を今一度見つめなおし、新たな気持ちで新年を迎えたという方も多く見受けられます。この新年に、御祈禱をうけるという風習を絶やすことなく今一度皆さんの氏子地域はどの神社になるのかを確認し、お参りに出かけてみてください。

こうして、皆さんが氏神様を知ることが氏子地域を知ることであり、それはやがて地域とのつながり、関りを深めることになり、そして、地域が連帯することによって地域活性化につながり、活性化した地域によって、よりよい社会がつけられるのです。

地域が人を育て、人が地域を育てるといふ環境は安心な社会の構築を実現し、皆さんが幸せに生活できる未来につながっていくと信じています。

宇和津彦神社

宇和島市



写真左：秋祭り宵宮で奉納される八ツ鹿踊り
撮影 / 北濱一男



宇和島市野川にある宇和津彦神社は南予有数の古社とされています。過去に三度の火災に合い、創建の年代をしめす資料はありませんが、社伝によりますと延暦11年(792)土佐国高賀茂神社より奉遷されたとあり、それ以前の年代と思われ

ます。
旧藩政時代には藩の総氏神とされ、南予総鎮守の社として宇和四郡の人々から「いっくさま」と呼ばれ親しまれてきました。

旧宇和島市内では今でも「いっくさま」と呼ぶ人は少なくありません。

秋の例祭では牛鬼のほか12〜13歳の少年8人が鹿の頭をつけ、その面から垂れた紅染の布で上半身を覆い、手甲、脚半草履ばきで、胸の太鼓をトントコトントコと打ちながら舞う「八ツ鹿踊り」は、多くの人々を魅了しています。

宇和島市野川新 13 TEL.0895-22-1276

三島神社

宇和島市



宇和島市の三島神社は、平安時代の初期、大同元年(806)に大三島の大山祇神社より勧請されたと伝えられています。

当初は、現在の堀部公園にあたる森にありましたが、文永11年(1274)に現在の地に鎮座したとされています。

宇和島地方を治めた橘氏・西園寺氏・伊達氏の崇敬篤く、宇和島の南の守り神として信仰を

あつめてます。
祭神は、おろまつみのかみ いちなかに大山津見神・石長比賣神いほながひめ・木花佐久夜比賣神です。

大山津見神は「偉大な山の神霊」の意味を持ち、山の神・海の神として崇敬されています。

石長比賣神・木花佐久夜比賣神は大山津見神の娘神で、それぞれ「岩のように永久不変な女神」「木の花が咲くように美しい女神」の意味を持つとされています。

宇和島市長堀2丁目5-27 TEL.0895-22-2042

和霊神社

宇和島市



写真右：社殿は、四国屈指の大社といわれています。
写真左：和霊神社の大鳥居は、石造りとしては日本一といわれています。

和霊神社の祭神は山家清兵衛公頼公。宇和島藩初代藩主伊達秀宗のもと筆頭家老として仕えていた公頼でしたが、元和6年（1621）和霊騒動により非業の死を遂げます。その後、公頼殺害に関与した者が落雷・海難などにより次々と変死したり、飢饉が続いたりしたため、公頼の祟りだとの噂が流れ、秀宗は、これを鎮めるために神社を創建し、山頼和霊神社と名づけました。江戸時代から明治にかけて和霊信仰は西日本各地に広がり、多くの和霊社が勧請されています。坂本龍馬の先祖である坂本益助も和霊神社を勧請しており、龍馬は脱藩の際、その和霊神社に詣でて水杯を交わしたと伝えられています。



境内にある坂本龍馬脱藩140年と坂本家分霊社創建240年を記念する木柱

瑞穂会 2年に一度のしめ縄づくり

12月某日、三間町宮野下で今年、和霊神社に奉納する『大しめ縄』を撚り合わせる作業が行われました。11月に制作していた三本の大きな藁束を撚り合わせて、ひとつの大しめ縄にするのは大変な作業です。完成したしめ縄は、全長約5メートル、周リ約2メートルにもなります。二年に一度、和霊神社に奉納する大しめ縄を制作するのは三間町の『瑞穂会』の皆さんです。『瑞穂会』は、昭和51年（1976）頃宮野下地区の神社総代の中から「三嶋神社へ大しめ縄を奉納したい」という機運が盛り上がり、その後発足しました。今年で38年目を迎える「瑞穂



会」の会員は田中充会長以下11名のみなさんです。かつては、「神社のしめ縄を作りよるんやけん、尻をつくな中腰でやれ」と言われ大変だったようですが、今では作業台を使用するなどで、試行錯誤が行われ、ずいぶん作業も楽になったそうです。ただ近年、稲わら干しをする農家が激減したことなどから良質の稲わらを手に入れることが難しくなってきたという事です。



瑞穂会 会長
田中 充さん

三間 三島神社



天平時代(729～749年)、現在の場所に社殿が建立され大山積命を勧請したと言われ、のちに三間郷総鎮守となりました。宇和松葉城主西園寺公をはじめ、歴代の領主の庇護を受け、吉田藩領となつてからも伊達家の祈願所として栄えました。



階段の途中にある古い手水舎

宇和島市三間町宮野下9 2 7 TEL.0895-58-3025

立間 八幡神社

治承年間(1171～1181)、関東から下つてこの地で隠棲していた田原又太郎忠綱が生前、守護神として崇めていた八幡神を祀ったのが始まりと言われています。伊達氏の入部によって領内総鎮守社として歴代藩主から篤く崇敬され、例祭は神幸祭の諸行事、神輿の渡御、ねりものが八幡祭(吉田祭)と言われ、昭和初期までは近郊の名物として大いに賑わっていたようです。



宇和島市吉田町立間 2-2594

卯之町 三島神社



現在の社殿は弘化3年(1846)のもですが、承平6年(936)、藤原純友征伐を期に大山三島大山祇神社より勧請し大蔵山三島神社と号したと言われています。ご祭神「大山積大神」は武神・海上守護神として崇敬され、三水軍守護神として知られています。嘉禎2年(1236)西園寺家のはからいで神主を招致し、後に神主は吉田を名乗り、現宮司の吉田充邦氏は吉田家33世になります。

西予市宇和町神領 165-1 TEL.0894-62-0461

愛南町 諏訪神社

大昔、火災に遭い創立年代は不詳となっておりますが、宇和旧記によると永正三年(1504)御荘郷(現在の南宇和郡)領主法眼承賢一族により建て替えられたとの棟札の写しがあり、それ以前より存立していたことは確かです。宝永五年八月(1708)御荘郷の総鎮守と崇められ以来、秋祭には御荘組内の代官および庄屋などは必ず参列し、五穀豊穡、豊漁祈願、疫病平癒などの祈祷所として御荘郷内の人々の信仰を集めました。



南宇和郡愛南町城辺甲 2057 TEL.0895-72-2308

撮り歩きなんよ

アマチュアカメラマン北濱一男が撮りためた南予の風景



「宇和のわらぐろ」

かつて、脱穀した藁を積み上げた「わらぐろ」が並ぶ風景は、宇和盆地の風物詩でしたが、農業の機械化が進むにつれ、次第に姿を消してしまいました。

その後、米農家の上甲清氏が立ち上げた「宇和わらぐろの会」により「わらぐろ」は復活し、多くのカメラマンが訪れていました。しかし、それも残念ながら去年で終了してしまいました。

今は、JR伊予石城駅近くにマンモスや「わらぐろ」が並びます。

写真・文 / 北濱 一男



北濱 一男 アマチュアカメラマン

1945年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめますが、本格的な写真歴は約20年。

現在は、奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事し毎月奈良へ通う。

撮り歩きなんよ（ブログ）<http://uwatu.blog135.fc2.com/>



巻きずし／一本 580円 いなり／一個 120円

むらさめ

宇和島市本町追手 2-8-12
TEL.0895-22-1301
営業時間 / 10:00 ~ 17:30 (食事は 16:00 まで)
定休日 / 水曜日



人気のちゃんぽんは 650 円です。



昭和30年代の店先です。電話番号も局番がありません。



右：三代目 村尾 司さん
左：四代目 村尾 健さん

かつて本町界限は、宇和島の中心でした。現在、宇和島信用金庫本店営業部がある場所が、かつて宇和島自動車の本社で周辺には多くの食堂や旅館が軒を連ねていました。

今回ご紹介する「むらさめ」は、創業年は不明ながらも、昭和2年（1927）に先代の女将さんが嫁いできているということなので、創業してからおよそ100年と言っていいと思います。

「むらさめ」といえば、いなりと巻き寿司です。昔から変わらない少し甘いその味は、今でも多くのファンがいます。

また、根強い人気なのがちゃんぽんです。その、あっさりした味付けは、しっかり味のいなりや巻き寿司との相性が、ばっちりです。

およそ100年もの年月、この町の移ろいを見てきた「むらさめ」の味は、今でもどこか懐かしい味がします。



「おまち」追手通りのシンボルだった三階建ての花屋旅館 昭和47（1972）年

かつて「おまち」とよばれた追手通りは、昭和41（1966）年7月の町名改正により、本町と一緒に「本町追手」となったが、明治末期から戦後しばらく宇和島第一の繁華街だった。

「おまち」は、全国有数の芝居小屋「融通座」や映画館、京風三階建ての花屋旅館や清家旅館などの旅館や料亭、元町花街やカフェ通りなどが軒をつらねて、明治末〜昭和戦前を通じて華やかに賑わった。それには、当時交通の主力であった宇和島自動車バスがこの地で創業したことも大きい。

戦後七十余年、先の戦争末期の度重なる空襲にも延焼を免れた「おまち」の美しかった歴史的街並みも年々消えていき、かつての栄華は儼ふ由もない。しかし、本当に「おまち」のすべてが消えてしまったのだろうか。

以上のことを念頭に改めて「探索者」視線で歩けば、袋町商店街アーケードを抜けた辺りから、まわりの景観が少し変わったことに気づく。「レストラン壺」と山崎氏宅（元山崎玩具店）の外壁には、当時流行った洋風建築の同一デザインがあざやかに目に写り、明治創業の野中かまぼこ店の二階の窓には旧追手郵便局の面影が残っている。

お好み焼き「ちとせ」の入ったビルの前でたまたみ見上げると、ユニークな円形の窓の左に「写真」という文字で表現した「こて絵」が見つけられ、向かいの民家は「国宝追手門旧蹟」の石碑が埋め込まれ、町名の由来ともなった追手門（戦災で焼

※こて絵（鏝絵）左官職人の心意気を示す土壁に漆喰（しっくい）でレリーフを施したもの。左官こてで仕上げていることから。

失）がここに建っていたことがわかる。

サンシャインハイツ側の「こみつ食堂」は宇和島信用金庫本店横道の「むらさめ食堂」とともに、稲荷やバラ寿司など宇和島伝統のソウルフードを提供、テイクアウトも可能。「むらさめ」隣の「二〇加寿し」は、閉店した今もレトロな木製看板がかかり郷愁を誘う。「清水の唐まん（唐饅頭）」は消えたが、「こみつ」並びの老舗「吉弘菓子舗」の銘菓「蜜饅頭」は、故郷―宇和島を思い出させる味として変わらず愛好されている。戦前は「カフェー横丁」が流行ったといわれるが、堀端側の安藤珈琲（旧吉田洋服店）と「壺」両店では、明治・大正期の洋風建築を生かしたヨーロッパ風のオシャレな中庭を眺めながら、優雅なコーヒータイムが楽しめる。あなたもネット情報などに迷わされず、この界限を自分の目で歩いてみてはいかがでしょうか。きっと、あなたなりの新しい発見があると思います。



花屋旅館取り壊し後、青野胃腸科医院が建ち、現在は駐車場になっています。それでも、当時と変わらないのが、よろずやカメラ店さんと宇和島信用金庫です。



田部 司 たなべつかさ

プロフィール 昭和25（1950）年生まれ。宇和島市在住。日本眼鏡技術者協会会員。
 タナベ昭和館主宰（ブログ公開中 <http://www.uwajima.com/tanabe/syowa/syowa.html>）。
 共著に「目で見る 宇和島・北宇和・南宇和の100年」（郷土出版社2003年）
 「保存版 宇和島・北宇和・南宇和の今昔」（同2010年）など。

写真・文 / 田部 司



このたび、うわしんさんより「つなぐ」という広報誌が発刊されることになり、その創刊号にと原稿依頼があった。いつものことながら無謀にも引き受け、後悔しきりである。

とにかく38年に及ぶ教員人生、そして退職してからの博物館勤務、書くことは山ほどあるが、残念かな、文章表現が出来ない。今回は一つのエピソードでもって責を果たしたい。若い先生が、この漫画は面白いですよと紹介されたのが「夏子の酒」だった。彼が言ったのは「たかが漫画、されど漫画」。私は酒が弱いというより、飲めないといった方がよい。賑やかなことでは好きなので酒席は嫌いではない。日本酒の匂い、酔っ

た後に頭ががんがんするのが嫌なだけだ。

この漫画はドラマにもなり評判を呼んだ。こと米作りから酒の醸造に関しては深い知識と創造力で描いている。良いものを造る、日本経済の根幹でもある。

あらずじは、幻の酒米の栽培から日本の農業への警鐘、そして農業行政など組織改革まで及び、すばらしい酒を造る壮大な物語である。その物語中で「和醸良酒」という扁額が出てくる。一つのことを成し遂げるためには、蔵人達みんなが、和をもつて仕事をすれば、良い酒を醸し出すというもの。この言葉を置き換え、教育の場ではよく「和育良人」と置き換え使った。この漫画を読んで、良い酒とはすーっと飲めるものだと思いがつた。そして日本酒に関する蘊蓄や全国の蔵、銘酒の名前を覚えることが出来たのもひとつの成果だろうか。

この冊子の「つなぐ」という意味は和、つまり輪である。宇和島の輪を大事に育て、そこに生きる人々を描き、全国に発信していった貰いたい。



本田 耕一 元市立伊達博物館 館長

1945年生まれ 宇和島市在住
元宇和島市立城北中学校 校長 愛媛県視聴覚教育協会 顧問



個展会場でのギャラリートーク(右奥中央)
2017年10月

かつて、司馬遼太郎さんと愛宕山の展望台に立ち、宇和島を眺望したことがある。その時「宇和島は人が暮らすのに理想的な大きさとかたちをしていますね」と言われた。様々な土地に足を運び、歴史的背景を調べ、考え、洞察してきた人の言葉は確信に満ちていて、読者でもない僕だが、しっかりと響いてきたのを覚えている。

また、宇和島と別府航路があった頃、レゲエミュージシャンの友人達が九州でのライブを終え、遊びに立ち寄ってくれた時のこと。九島を横に躲しフェリーで乗り入れた面々は、目の前に開けた湾に沿った街と、背後に迫る鬼ヶ城連山を見て、その渾然一体となって醸し出す独特

な風景に魅せられたと言っていた。国内は元より海外でも演奏し、多くを見聞してきた彼らも、鋭敏にこの土地のかたちを見て取っていたのだ。後に司馬さんも彼らも幾度となく宇和島を訪れることになる。

そこで、今回スタートする「つなぐ」に望みたいことを少し。全国で似たようなイベントや町興しが氾濫するのも、時代の流行りとして仕方のないところはある。しかし、そればかりでは困る。風潮に簡単におもねない、この土地で脈々と育まれ、表立たずとも密やかに光を放つもの。この狭い地域から発するフリーペーパーの役割として、時々はその視点からも拾い上げてほしいのだ。スマホではキヤッチできないちよっとしたニュアンスをちりばめることで、時間を掛けて作り出したこの地特有のものを、未来につなげて行くことができるのではないか。

僕も各地で展覧会をするが、上っ面でないものに目を配り、酒を呑み、歩き、交わる。そして、ならではの匂いを嗅ぎ取った時こそ「つなぐ」実感を得ることが出来るのだ。



吉田 淳治 画家

1951年生まれ 宇和島市在住 1980年より全国にて個展多数。画集3種、オブジェ・エッセイ集を刊行。現在、WATERCOLOR II シリーズによる個展を各地で展開中。同シリーズのポストカードがある。
<https://junji-yoshida.webhop.info/>



海すずめ DVD 好評発売中！

2016年7月、東京・有楽

町。映画「海すずめ」の上映初日、のんびり出かけた私を待っていたのはなんと開場を待つ長蛇の列。予想外の熱気の中、なんとか席を確保、立ち見客も出る満員御礼の中で映画は始まった。上空からズームアップされる宇和島城、青い海、街並み。懐かしい風景がスクリーン一杯に広がる。映画が終わるとどこからともなく拍手が湧き、涙をぬぐう人もいる。ふと後ろを振り返ると「関東愛媛県人会」の横断幕を持つ人々。宇和島を愛する人が東京のと真ん中でひとつになっていた。

最近、「関係人口」という言葉を知った。住んでいなくても地域に様々なかたちで関わる人々のことをそう呼ぶのだそうだ。ふるさと納税や宇和島城一口城主への参加は経済的な応援団と

してわかりやすい。宇和島クラブに入会したり、愛媛物産展に出かけたり、宇和島料理のお店で食事をする人だって関係人口にカウントできる。職場で宇和島のことを宣伝するとそれだけで立派な観光大使だ。

宇和島を離れて暮らす人は全国にどれほどいることだろう。

私には兄、妹2人、そして弟がいて、この5人全員が東京で生活をしている。だけど、みな宇和島が大好きだ。愛情一杯に育ててくれた両親に対する気持ちと同じように、私たちを育ててくれた宇和島にも感謝の思いで一杯だ。歴史、文化そして豊かな自然あふれる宇和島にはいつまでも元気でいてほしい。

そんなふるさと宇和島に私はこれまでどんな風に関わってきただろうか、そしてこれからどんなふうにつながっていきけるだろうか。離れて暮らしている人をも宇和島につないでくれる、そんな温かい情報誌になってくれるといいなと思う。『つなぐ』創刊、おめでとうございます。



渡辺 文子 (旧姓：菊池) (株)編集工学研究所 総務部長

1960年生まれ 宇和島市出身

待望の『つなぐ』の創刊、誠に
おめでとうございます。

『つなぐ』・・・ワクワクする、とても良い響き。『つなぐ』から始まり、人と人をつなぎ、会話と笑顔をつなぎ、地域の元気につながっていく。そうした風景が目に見えれば。創刊にあたり、川尻編集長をはじめ宇和島信用金庫役員の皆様、心よりお喜びと感謝を申し上げます。村尾理事長から「川尻くんを雇用し、『さすな』を引き継ぐ」と思う」と相談を受けたのは、一年以上前のこと。「地域の皆さんに愛され続けてきた『さすな』が廃刊となるかも知れない。地域に根ざした宇和島信用金庫だからこそ、我々にはできることがあるのではないか」本業とは直接異なる事業を引き継ぐことや、人を新たに雇うことは、そう簡単ではありませぬ。村尾理事長の意志と決断に感銘を受け、「素晴らしい。こうした知的文化度の高い情報誌は、宇和島には必要不可欠です。ぜひお願いしたい」と、私も熱を持ってお伝えしたことを、今でも思い出します。

「宇和島伊達四〇〇年記念に、

未来の子供たちに形あるものを残したい。歴史を絵本にしよう

「花れんさん、宇和島の歌を作ってや」「大森監督、宇和島のために映画作ろう！」。村尾理事長の一言が発端で、地域への想いが形になったものがたくさんあります。やろう！と意を決し旗を振る人、その旗を理解し実行する人、それに共感し応援する人がいたから実現したことです。「元氣な地域、元氣な金庫、元氣な私(皆一人ひとり)」のどれが欠けても続けられません。経済状況が厳しい時は、文化や芸術といった数字で測りきれない価値が軽んじて語られてしまう場面も多いものです。それでも地縁人縁を大事にし、地域になくてはならない事業と価値を見出し、継承いただきたいこと心から敬意を表します。村尾理事長、そして宇和島信用金庫さんの想いを、ぜひ地域の読者の皆さんにご理解いただき、新しく出発した『つなぐ』が、地域に笑顔を運び、次世代にもずっと続いていきますよう、応援のほど宜しくお願いいたします。



荻原 実紀 株式会社コトヴィア 代表取締役/感性デザイン経営コンサルタント

1978年生まれ 宇和島市出身

血圧を測りましょう。

現在日本における高血圧症の患者さんは約4300万人と推定され、高血圧に起因する死亡者数は年間約10万人と推定されています。

高血圧だと何が問題なのか。一言で言えば、血圧が高いと血管や心臓が壊れます。血管は全ての臓器に存在しており、栄養や酸素を供給しています。

血管が細くなったり破れたりすると臓器障害が生じます。主な臓器障害は心臓（狭心症、心筋梗塞など）、脳（脳梗塞、脳出血など）、腎臓（腎不全など）、大血管（閉塞性動脈硬化症、大動脈瘤など）に多く現れます。

至適血圧（収縮期血圧120^{mmHg}未満かつ拡張期血圧80^{mmHg}未満）を超えて血圧が高くなるほど、これらの病気が多くなることが知られています。

高血圧の恐ろしいところは、ほとんど症状がないことです。そのため知らず知らず病状が進行してしまつてことがあります。

自宅での血圧は低いのに、診察室に

来ると血圧が高くなる方もおられます。これは白衣高血圧と言われています。

診察室血圧と家庭血圧の間に差がある場合、家庭血圧による診断が優先されます。

血圧が140/90^{mmHg}以上の方は高血圧患者であり、治療の対象となります。その治療方針は血圧値だけでなく、危険因子や高血圧性臓器障害の有無によって異なります。

危険因子は高齢（65歳以上）、喫煙、脂質異常、肥満、メタボリックシンドローム、糖尿病などです。臓器障害は脳血管障害、心肥大や狭心症、腎機能障害、動脈硬化などです。

高血圧の治療を行う時には単に血圧だけではなく、これらの背景を把握する必要があります。そのため初めて高血圧と診断され病院に行くと、色々な検査が行われることとなります。また、高血圧の1割程度はホルモン異常や腎疾患など、何らかの原因に基づく二次性高血圧だと言われており、各種ホル

モン検査も行われることもあります。

それらの結果を総合的に評価し、患者さんの状態をリスクに応じて分け、治療方針を決めます。低リスクなら減塩（1日6g以下）、減量、運動、禁煙などの生活習慣改善を3ヶ月間指導し、血圧が下がらなければ降圧薬による治療が開始されます。中リスクなら1ヶ月の生活習慣改善で下がらなければ薬物治療開始、高リスクなら直ちに治療が開始されます。

高血圧症にはほとんど症状がありません。しかし、そのまま放置してしまつと心筋梗塞、脳卒中、動脈硬化などの命にかかわる病気を引き起こします。そのため「静かなる殺し屋」とも言われています。

適切な生活習慣の改善と薬物治療により、多くの方の血圧はコントロールすることができます。収縮期血圧を10^{mmHg}下げただけで、脳卒中は30数%、冠動脈疾患は20数%も減少すると言われています。



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

また、日本人の血圧を4^{mmHg}下げることにより、脳卒中死亡数が年間約1万人、冠動脈疾患死亡数が年間約5千人減少するとも推計されています。

血圧は日々変動します。測らない血圧は誰にも分かりません。血圧が高いと言われたら放置せず、血圧を毎日測る習慣を付け、値を記録し、高いようであればお近くの医療機関にご相談下さい。



ペット大好き!



我が家では、2匹目のミニチュア・ダックスとなります。犬種の性格から、活発で感情表現も豊かですが、羽目を外すこともしばしば…。目下のライバルは、孫の皓斗君です。

- ① ミニチュア・ダックス
- ② カイ ③ 4才 ④ ♂



- ① 柴犬 ② トト
- ③ 6才 ④ ♂
- とにかく食べます(笑)

温厚で人なつこくて、とってもいい子です。

- ① ラブラドル・レトリバー
- ② シュート
- ③ 1才 ④ ♂



家族大好き

「だっちゃん」でも、ママの溺愛ぶりには少々ウンザリしてます(苦笑)

- ① ミニチュア・ダックス
- ② だっちゃん ③ 14才
- ④ ♂



人なつこい親犬モモと正反対の子犬アンズ。でも共通点もあります。それは、散歩が嫌いなこと(笑) そんな2匹に日々癒されています。

- ① ミニチュア・ダックス
- ② モモ(左) ③ 14才 ④ ♀
- ② アンズ(右) ③ 11才 ④ ♀



会話や表情を読み取れるとっても家族思いのワンちゃんです♥

- ① フレンチブルドッグ
- ② プル ③ 10才 ④ ♂

つなぐ編集部では、「ペット大好き!」のコーナーに掲載させていただくペットを募集しています。ご希望の方は、住所、氏名、お電話番号、ペットの写真、名前、年齢、性別、コメント(50文字以内)をご用意の上、最寄りの宇和島信用金庫営業店にお申込み下さい。尚、お申込み多数の場合は掲載できない場合もございますので、ご了承ください。

お問合せ: 宇和島信用金庫 業務推進部 情報誌つなぐ担当 0895-23-7000

- ① 犬種
- ② 名前
- ③ 年齢
- ④ 性別